

破天荒

教宣部

5091号

2020年
10月 7日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



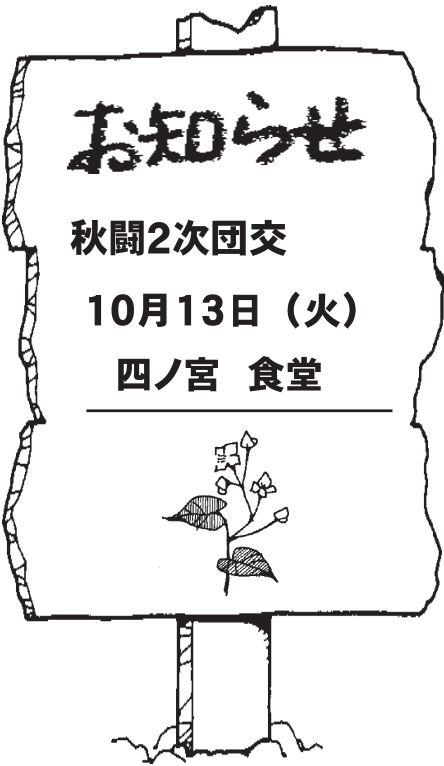
2020年度秋闘 一時回答 要求に対してゼロ回答

先週の金曜日、秋闘の回答指定日団交でした。例年要求している項目と新規2項目を加えました。検討した結果どうだったのでしょうか？

電子状況

産品業界、半導体業界好調を維持、全体を見れば案件の中止・延期が続いている。営業活動は厳しい制約、先の見えない状況で与信不安もあり予断を許さない状況。海外営業所においても半導体業界を除き業界全体はスローダウンの傾向が続いている。

システム状況



組合事務所/団交を東野に
組合事務所を四ノ宮に確保、東野には設置しない。四ノ宮があれば新たに設置する必要はない。プレゼンテーションルーム・食堂・応接室はグループセンターの設備で、グループセンターに施設管理権があり、ビルに入庫している各社共用部

昨年まで3年連続の黒字を達成してきたが今年新型コロナの影響もあって累計で約1千万円の赤字となっており黒字の回復が難しい。

破棄された協約の復活

現時点で協約を破棄していることで大きな問題は発生していません。

組合事務所/団交を東野に

組合事務所を四ノ宮に確保、東野には設置しない。四ノ宮があれば新たに設置する必要はない。プレゼンテーションルーム・食堂・応接室はグループセンターの設備で、グループセンターに施設管理権があり、ビルに入庫している各社共用部

でもあり団体交渉に利用はできない。四ノ宮ビル食堂はOK。

福利厚生行事補助金の増額

一人3万円の補助金は他社に比べて劣ってはいない。新型コロナウイルスの影響で一泊旅行など全ての福利厚生行事は中止となり資金の繰り越すこともあるので詳細は来年の福利厚生委員会で決定する。スポーツ施設借用料は電子とシステムの2社となったが昨年と同様に37万円とする。

休日増

休日増はしません(年間休日日数を118日とする)。一日の労働時間を15分延長して完全週休2日制にしません。総労働条件で考えるならエンジの「月3日の病欠廃止」「医療費補助を廃止して全額予防医療費」「一時金査定の導入」などを組合が了承すれば検討する。

時差出勤の新設

新設はしません。現在新型コロナウイルスの影響、期間限定でやっているが利用者が少ない。コアタイム有りのフレックスタイム制の導入に近い。管理が難しく部署内のコミュニケーション・チームワークが取りにくい。その人が居ないと仕事に滞ったりする、自己管理が難しい。

定年退職時の特別加算

竹中の退職金は低くない。大企業に比べれば見劣りするが、大企業では資格や職務要素を考慮したポイント方式で算定されている。竹中は確定給付型年金制度、個人で資金提供せずリスクが少ない。100人〜500人規模、東京都の100人〜300人の同規模の企業の給付をみれば竹中は上位となる。

年休の時間単位取得

1000人以上の企業で実施率16.1%です。竹中では総務で個人別の管理は煩雑で実施できません。現行の半日有給休暇で対処し

てください。

嘱託社員の病欠制度

甲種嘱託社員制度は竹中グループ共通のもので、病欠制度は電子・システムだけです。エンジニアリングにはありません。

裁判員休暇制度

企業にこの制度は義務付けられていません、有給・無給は各企業に委ねられています。公用休暇を使いノーワーク・ノーペイという考え方に変わりはない。

甲種嘱託社員の最低賃金

最低協定はしません。ただし、年金の支給年齢の引き上げに関しては十分配慮して再雇用の賃金を決定しています。

